

## <ニュースチェック> 13日のNHK会長会見は映像と音声なし？

2014年2月12日 上出 義樹

就任会見でいきなり飛び出した「従軍慰安婦はどここの国にもあった」などの問題発言や安倍晋三政権寄りの姿勢などが厳しい批判を浴びているNHKの<sup>もみい</sup>舛井勝人・新会長の次回の記者会見は、映像や音声なしの可能性が高い。

舛井会長の次回の記者会見は2月13日に、月に1度の定例会見として開かれるが、定例会見は長年の慣例で、テレビカメラによる撮影や中継が認められていない。

### テレビカメラの撮影・中継は禁止

メディアウオッチ2月2日付けの拙稿「今なお閉鎖的なNHK会見とマスコミの体質」で書いている通り、NHKの会長会見は、新聞社だけでつくる放送担当の記者クラブが主催し、フリーランス記者や雑誌、ネットメディアは会見に参加できない。民放の記者はオブザーバー参加が認められているが、撮影は禁止されている。

### 視聴者・国民の知る権利や公共放送の説明責任はどうなる

1月25日の就任会見で舛井会長の映像や音声が放送されたのは例外的な措置で、NHKの広報担当者によると、13日は定例会見のためテレビカメラが入らないことになっているという。最近では中央省庁の大臣会見の多くがオープン化され、インターネットネットの動画中継も行われているのに、NHK会長の記者会見が公開されないのは、視聴者・国民の知る権利に目をつぶり、公共放送としての説明責任を放棄する行為ではないのか。しかも、その言動が問題となっている会長である。最低でもネット動画の中継は解禁してほしい。

(かみで・よしき) 北海道新聞社で東京支社政治経済部、シンガポール特派員、編集委員などを担当。現在フリーランス記者。上智大大学院博士後期課程(新聞学専攻)在学中。